

種別	名称	所在地	推薦理由・物語 (内容は認定当時。また文章表記は統一していません。悪しからずご了解ください。)	分類 1	分類 2	全体 通番	認定 年度	年度 通番
ヒト	からくり名人 浦野良美さん	足助町本町11-2	足助の町並みにある「からくり小屋」の作者。中通りを通る人たちに喜んでもらうためにからくりを自作しています。	ヒト		12	28	12
ヒト	最後の足助芸者 後藤久子さん	足助町	かつては30名ほどの人数がいたと言われる足助芸者最後のおひとり。現在は香嵐溪踊り等の指導を行っている。	ヒト		14	28	14
ヒト	古き良きものコレクター 石川 昭さん	永覚町上長根	古き良きものコレクター。道楽と言えば道楽ながら、古くても良いものを残していくという行為を続けています。	ヒト		27	28	27
ヒト	食劇戦隊啓発レンジャー 若杉理恵	高美町	劇団カレイドスコープの代表として啓発劇を行い、防犯など市民の方々に分かりやすく伝えている方です。また、地域講師として小学校での読み聞かせや、クッキングクラブ等で子どもたちの情操教育や食育を行っています。	ヒト		43	30	2
ヒト	狩人&料理人・清水潤子	北小田町	女性ハンターという側面だけでなく、獲った様々な対象を自ら味見し、料理して提供する店を出し、さらに自宅に処理施設を設置して、獣害を避けるために駆除しなければならない命を無駄にしない活動を展開しているところが素晴らしいです。	ヒト		54	30	13
ヒト	木使いの人・山田政和さん	本徳町	山田さんは、豊田市産の木材で家具や遊具などを作り、市民に木材の新しい使い方を楽しく愉快地に提案しています。ラグビーワールドカップ2019の際には、巨大な木製ラグビーポールを製作したり、依頼されて木製の雲梯などを作ったりと、様々な「木使い」をしています。	ヒト		62	1	4
ヒト	燻りにすと・佐々木雅治	野見町在住	豊田が好きすぎて、豊田の食材をなんでも薫製にしてしまう「燻りにすと」。日ごろは美容師として働きながら、伐採された足助の紅葉や小原の四季桜などを使い、市域の食材を薫製にしています。「豊田を面白くしたい」が口癖です。	ヒト		78	2	11